

舞妓部



蘇尔  
實方  
邦

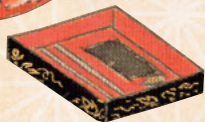
# 歌心

企画展

— 古典文学と

和歌のしらべ —

赤染  
清の



清女納言



令和6年

## 2月3日(土) — 3月31日(日)

開館時間 10時～17時(入館受付は16時30分まで)  
 休館日 月曜日休館(祝日等休日の場合は翌日)  
 入館料 一般500円 高校生300円 小・中学生無料  
 友の会会員、学校メンバー加入団体、障がい者手帳提示の方・付添者▼無料  
 団体(20名様以上)、シルバーカード提示の方▼2割引  
 主催/林原美術館 後援/岡山県郷土文化財団 山陽新聞社 RSK山陽放送  
 〒700-0008 岡山県岡山市北区大瀬川1-15 TEL (086)223-1733 FAX (086)226-3089  
 Facebook @hayashibara.moa X @hayashibara1964 Instagram @hayashibara1964  
<https://www.hayashibara-museumofart.jp>

### 林原美術館

HAYASHIBARA MUSEUM OF ART



百人一首手鑑(部分) 池田光政筆



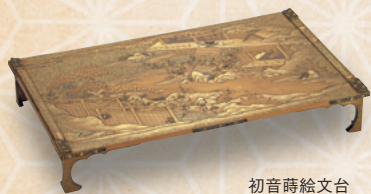
源氏物語図屏風(左隻) 狩野養信筆

「歌心」とは和歌に関する素養や内容の理解だけではなく、歌を詠むときの風流な気持ち、その「心」を表現した言葉です。五・七・五・七・七という韻律(リズム)の中で、多くを語らず、洗練された言葉で構成される和歌は、詠み手の技量だけではなく、歌に秘めた心情を推し量る受け手の教養と共感によって成り立つ表現手段として、貴族社会で特に重視されました。そうした「心」の交流を体現した歌詠みの文化は、秀歌をまとめた「百人一首」などの和歌集にみられるだけではなく、貴族社会の日常を物語風に描く文学作品にも取り入れられています。中でも人物が抱える光と闇、心の移り変わりといった感情を歌に込めた文学作品は、歌詠みの文法技術が凝縮された趣のある読み物として高い評価を得ています。

本展では、歌詠みの手本ともいえる歌人の代表歌を姿絵とともに収録した「百人一首手鑑」のほか、歌人・在原業平がモデルとされる男の一代を描いた『伊勢物語』や実在する天皇、貴族とのエピソードを歌物語として集約した『大和物語』、『栄花物語』など、様々な文学作品を書写した岡山藩主自筆の資料をご紹介します。

あわせて、紫式部の代表作『源氏物語』の解釈本として江戸時代に流布した『湖月抄』や物語の一場面を描いた屏風絵、能装束や漆作品などの工芸品をご覧ください。

本展を通じて、和歌に込められた心情や情景に思いを馳せながら、今なお愛される古典文学と和歌の魅力を感じていただけましたら幸いです。



初音蒔絵文台



『栄花物語』抜書(「初花」部分) 池田綱政筆

## 関連イベント

※定員の変更並びに開催の延期もしくは中止の場合がございます。

### 「京ことばで聞く『源氏物語』の世界」

京都の国文学者・中井和子氏の翻訳『現代京ことば・源氏物語』(大修館書店)をテキストに、「女房語り」の語り手としてメディア等でご活躍されている山下智子氏をお招きする公演イベントです。あらすじ解説、そして古風な「京ことば」によって表現された『源氏物語』の世界をこの機会にぜひご鑑賞ください。

日 時●令和6年2月4日(日)13時30分～15時  
語り手●山下 智子氏(紫苑語り会)  
場 所●林原美術館内ロビー  
定 員●30名(Webにて要予約)  
参加費●800円(入館料別途)

### 講演「視覚化される古典文学たち」

企画展「歌心—古典文学と和歌のしらべ—」の関連イベントとして、関西大学准教授の松本大先生をお招きし、平安時代の和歌や物語といった様々な作品の解説と、それらが後世ではどのように扱われていったのかという視点から、古典文学作品が描き出す世界の広がりをお話しいただきます。

日 時●令和6年3月10日(日)13時30分～15時  
講 師●松本 大氏(関西大学准教授)  
場 所●林原美術館内ロビー  
定 員●30名(Webにて要予約)  
参加費●無料(入館料別途)

### 特別企画

### 「和菓子とお抹茶の日(その五)」

明治21年(1888)創業・130年の歴史をもつ老舗の和菓子屋「松涛園」(岡山県倉敷市玉島)にご協力いただき、展覧会にちなんだ特別な和菓子をお抹茶とともに提供いたします。 **お茶席ではありません**

※企画展ごとに開催する限定喫茶メニューです。  
その都度変わる創意あふれる甘味をご賞味ください。  
※14時までにご連絡なく、来館のない場合はキャンセル扱いとなります。

日 時●令和6年3月3日(日)10時～14時  
場 所●林原美術館内 定 員●20名(Webにて要予約)  
お菓子代●600円(入館料別途)

**ギャラリートーク** 会期中の毎週土曜日14時から  
学芸員によるギャラリートークを行います。

## 次回予告

林原美術館開館60周年記念展「大名家に伝わる能楽」  
令和6年4月13日(土)～6月16日(日)

岡山藩主池田家に伝わった能装束や能面などの名品を、能楽を通じた將軍家との交流が記された歴史資料とともにご覧いただけます。

# 林原美術館

HAYASHIBARA MUSEUM OF ART

〒700-0823 岡山市北区丸の内2-7-15  
TEL (086) 223-1733 FAX (086) 226-3089  
https://www.hayashibara-museumofart.jp

\*車椅子対応の設備あります。

林原美術館ホームページ



【臨時休館について】「暴風警報」「特別警報」が発令されている場合は、臨時休館とさせていただきます。詳細はHPに掲載しておりますのでご覧ください。

## 交通

- JR岡山駅から徒歩25分
- 路面電車【東山行】  
県庁前下車 徒歩7分
- 岡電バス【岡電高屋行】  
県庁前下車 徒歩3分
- 宇野バス【瀬戸駅前・四御神行】  
県庁前下車 徒歩3分
- 循環バスめぐりん【県庁医大線】  
県庁前下車 徒歩3分

